

ごあいさつ

1983年“家族で楽しめる、内容あるコンサートの開催”を目的に発足した四季のコンサートも皆様の熱いご支援・ご協力と趣旨に賛同して出演して下さる内外のトップアーティストの方々のご協力を得て、おかげさまで今年43周年を迎えることが出来ました。スタッフ同心よりの感謝をこめて2026年四季のコンサートのご案内を申し上げます。

本会は非営利団体ですので、通常他では1回3,000円~5,000円のコンサートを1人1回当たり1,000円という実費だけの低料金で提供して参りました。サブタイトルにある「ふれあい」の意味は「質の高い音楽（作曲家と演奏家による）とのふれあい、真剣勝負をしている演奏家の魂とのふれあい、家族と一緒に楽しむふれあい」です。生の音楽は瞬時に消え去りますが、その感動と感動の記憶は深く心に刻まれて私たちの心にやすらぎをあたえてくれます。家族ふれあいの場に、お友達とのミニ同期会の場に、忙しいあのひとと過ごす場に、一人で瞑想する場に、皆様、お揃いで四季のコンサートをお楽しみ下さい。

静岡音楽友の会

これまでの主な出演者

ピアノ/野島 稔、内田光子、清水和音、花房晴美、岡田博美、ギャリック・オールソン、レギナ・スメンジャンカ、リユーボフ・チモフェーエフ、ディーナ・ヨッフエ、小山実稚恵、仲道郁代、オクサナ・ヤブロンスカヤ、仲道祐子、アン・マリー・マグダーモット、フランク・ブラレイ、V・アシュケナージ、A・ガブリリユク、田部京子、若林 顕、A・バックス、田村 響、アンドレア・パッケッティ、児玉麻里、高橋礼恵/ビョルン・レーマン、ブルーノ・レオナルド・ゲルバー、三浦謙司、今田篤 **オルガン**/小林英之、武久源三 **チェンバロ**/鍋島元子、クリスティーネ・シュルンスハイム、鷲崎美和 **指揮**/小澤征爾、十東尚宏、W.マウラー、レベッカ・ステュワート、**作曲家**/中田喜直 **ヴァイオリン**/久保陽子、漆原啓子、黒沼ユリ子、佐藤陽子、千住真理子、ヴァルター・フォルヘルト、堀米ゆずり、加藤知子、安永徹、戸田弥生、前橋汀子、竹澤恭子、有希・ヤンケ、天満敦子、日下紗矢子、長尾春花、西江辰郎、正戸里香、青木尚佳 **ヴィオラ**/今井信子、ロジャー・チェイス **チェロ**/堤 剛、山崎伸子、藤原真理、河野文昭、林 峰男、植木昭雄 笹沼 樹、伊東 裕 **コントラバス**/ダンカン・マクティア、黒木岩寿 **フルート**/金 昌国、工藤重典、エマニュエル・パユ、アンドレア・グリミネッリ、荒川洋 **オーボエ**/宮本文昭、インゴ・ゴリツキー、青山聖樹、古部賢一、H・シェレンベルガー **ホルン**/千葉 馨、サボルチ・ゼンブレニ **クラリネット**/カール・ライスター、大島文子、赤坂達三 **ファゴット**/セルジオ・アッツォリーニ **サクソフォン**/須川展也 **トランペット**/田宮堅二、北村源三、フランク・ブルチーニ、市川和彦 **ハープ**/篠崎史子、吉野直子、アルギット・アナ・シューズ、平野花子、山宮るり子 **打楽器**/吉原すみれ、高橋悠治、安倍圭子、山口多嘉子、山口トモ、通崎睦美、田島隆 **ソプラノ**/東敦子、大島洋子、佐藤しのぶ、松本美和子、林康子、青田正子、羽根田宏子、豊田喜代美、濱田理恵、ロベルタ・マメリ **メゾソプラノ**/波多野睦美、山下牧子、渡辺敦子、小野和歌子 **アルト**/青山智恵子 **テノール**/黒田晋也、五十嵐修、吉田浩之、中鉢聡 **バリトン**/大島幾雄、勝部太、牧野正人、三原剛、与那城 敬 **バス**/A.ナウメニコ **室内楽**/東京カンマーアカデミー、20世紀合奏団、ナーダ、桐五重奏団、東京クインテット、トリオ・ディ・トリノ、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、トルヴェールカルテット、ボンセン(ベトナム歌舞団)、アントネッロ、アムステルダムシタダグマムジウム、カザルスカルテット、東京パリアンサンブル、ブラジャークカルテット、トリオ・アコード、トリオ・エスパ **オーケストラ**/桐朋学園オーケストラ(Aオケ)、**古楽器**/濱田芳道、鈴木俊哉、菅きよみ、西谷尚己、伊藤美恵 **リユート**/佐藤豊彦、佐々木政嗣、つのだたかし、高本一郎 **尺八**/横山勝也、竹心会 **箏**/羽賀幹子、彩の会 **琵琶**/鶴田錦史 **笙**/宮田まゆみ **尺三**/山下和仁、福田進一、村治泰一 **アコーディオン**/御喜美江 **合唱**/カペラ・プラテンシス **パロッドダンス**/市瀬陽子 **童謡**/はいだしょうこ **中国箏**/毛Y **ほら貝**/京都・聖護院門跡修験僧 **横笛**/藤舎理生 **鼓**/藤舎朱音 **静岡県出身演奏家**/前島園子、三城苑子、小澤保雄、横山靖代、星野和音、海野文葉、古川はるな

赤坂智子(ヴィオラ)

ジュネーブ音楽院にて今井信子女史に師事すると同時に、同校助教およびヌシャテル音楽院客員教授を務めた後、デュッセルドルフ音楽大学にて後進の指導にあたり、現在はミュンスター音楽大学教授を務めている。在学中より、セイジ・オザワ松本フェスティバルやNHK「名曲アルバム」などに出演し、リサイタルや室内楽コンサートの模様は多数放映・放送されている。第53回ミュンヘン国際音楽コンクールにて第3位受賞。パリのEdmund Pendreton財団より「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」を授与された。

佐藤晴真(チェロ)

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝し、一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。23年4月、名門ドイツ・グラモフォンより3枚目のアルバム『歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集』がリリースされた。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰。使用楽器は宗次コレクション貸与のE.ロッカ1903年。

津田裕也(ピアノ)

2001年東京芸術大学入学。同年、第70回日本音楽コンクール第3位。07年第3回仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。同年10月よりベルリン芸術大学においてパスカル・ドヴァイヨン氏に師事し研鑽を積む。東京芸術大学大学院修士課程を首席修了、併せてクローツァー賞を受賞。11年ベルリン芸術大学の新たな成績で卒業、その後ドイツ国家演奏家資格を取得。同年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。ソリストとして、ベルリン交響楽団、東京交響楽団を始め内外のオーケストラと協演。NHK-FM「名曲リサイタル」、東京・春・音楽祭、武生国際音楽祭、木曾音楽祭などに出演。東京芸術大学准教授。

須川展也(サクソフォン)

日本を代表する世界的なクラシカル・サクソフォン奏者。ソリストとして国内外30カ国以上で演奏やマスタークラスを行い、サクソフォンの可能性を広げ続ける第一人者。チック・コリア、坂本龍一、西村朗、吉松隆、ほか名だたる作曲家への委嘱を継続。多くの作品が楽譜としても出版され、20-21世紀のクラシカル・サクソフォンの新たな主要レパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多く、クラシカル・サクソフォンの領域への貢献は計り知れない。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクールのいずれも最高位に輝く。出光音楽賞、村松賞を受賞。東京芸術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。

～静岡県出身の演奏家シリーズ～

室内楽のタベ 昨年、発足50周年を迎えたMUSICA BELLAは管・弦・打楽器、声楽、作曲など多彩なメンバーによるコンサートを県内各地で開催し続けている。パロッドから近・現代まで、世界の名曲の数々を演奏予定。(詳細は6月5日に。)

郷古 廉(ヴァイオリン)

2013年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝、あわせて聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、最も注目される若手ヴァイオリニストの一人として、精力的に活動している。使用楽器は、1682年製アントニオ・ストラディヴァリ「Banat」。個人の厚意により貸与されている。2019年第29回出光音楽賞を受賞。2024年4月よりNHK交響楽団 第1コンサートマスターに就任。2025年1月よりみやぎ絆大使を務める。

ホセ・ガヤルド José GALLARDO (ピアノ)

アルゼンチンのブエノスアイレスに生まれる。5歳でブエノスアイレスの音楽院にてピアノを学び始め、その後マインツ大学音楽学部にてポルディ・ミルトナーに師事、同大学を卒業。在学中、室内楽に情熱を抱くようになり、メナヘム・プレスラー、セルジュ・チェリビダッケなどから音楽的影響を受ける。国内外で数多くの賞に輝くほか、ロッケンハウス室内楽フェスティバル、ヴェルビエ音楽祭、ルツェルン国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭など多くの音楽祭からも招かれている。